

札幌

そうりょう

嶺

札幌大学広報誌 vol.127



札幌大学
札幌大学女子短期大学部

〒062-8520 札幌市豊平区西岡3条7丁目3番1号

TEL 011-852-1181(代表)

<http://www.sapporo-u.ac.jp>

巻頭特集

札幌大学が変わる。

PICK UP TOPICS

札幌大学から札幌を考える
Vol.1「スポーツを通じての街づくり」

SU キャリアデザイン
Vol.1「札幌大学の教職課程」

私を 変える 大学の



2013年、札幌大学が変わる。[1学群13専攻]スタート

サツダイマツチング

7
2012



サツダイマッピングフォーラム
草野仁スペシャル講演会

2012年5月19日 オープンキャンパスのプログラムのひとつとして、桑原学長、本田副学長、ゲストの草野仁さんによる討論会が開催されました。
写真左から、フリーアナウンサー 橋本登代子さん、草野仁さん、桑原学長、本田副学長

変わる。

学びとキャリアをマッチさせ、 多様な可能性を提供する大学へ

フォーラムでは、学長が来春から始まる組織改編について考えを語りました。

【新しい大学づくりを進めています】

札幌大学は44年前に誕生した、まだ若い大学です。建学以来、「生きあふれる、知性豊かな、信頼される人間」として地域から世界へ羽ばたく人材の育成を目指してきました。この歴史のうえに札幌大学は今、学生と教職員と地域が協働する、新しい大学づくりを進めています。現在では都市部であれば進学率が50%を超え、誰もが高等教育を受けられるようになりました。これに伴い、日本全体で大学の在り方を見直す時期にきています。そこで札幌大学は他大学に先駆け、来春から「1学群制」を導入します。従来の学部学科の境界を無くし、全学的に教育資源を共有・融通することがポイントです。学群の中には13の専攻を設け、文科系総合大学としての多彩な学びを実現させます。

【多彩な学びを実現する

「1学群13専攻」へ

2013年度から現在の5学部を発展的に統合して、1つの学群「地域共創学群」に再編します。

「13専攻」では主専攻に副専攻を加えると、78通りの学び方が可能です。1年次は基盤教育を学び、2年進級時に主専攻を選択することもできます（ライターマッチング）。さらに3年次からは主専攻に加え、副専攻の選択も可能です。様々な分野に挑戦することによって、各人

の可能性を最大限に掘り起こしてもらおう、という考え方からです。「学群・専攻」という柔軟な枠組の中で、学びとキャリアをマッチさせながら、多様な可能性を提供する大学を目指します。

【新しい学びを

「サツダイマッピング」と名付けました

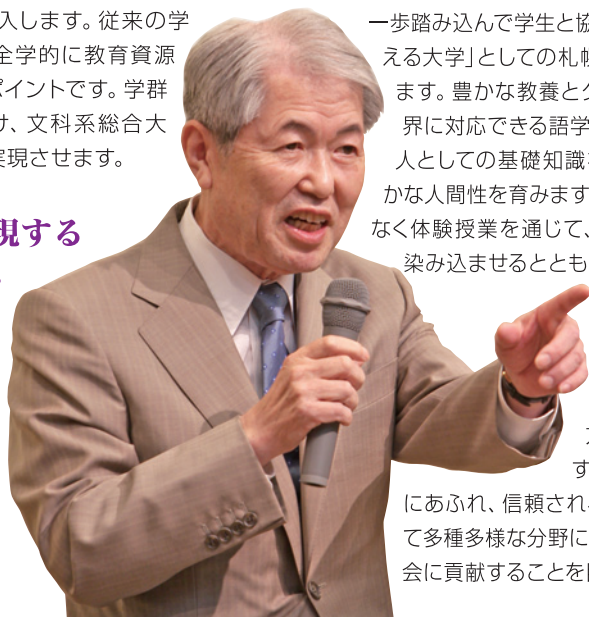
そんな想いを込めて私どもは、新しい札幌大学での学びを「サツダイマッピング」と名付けました。学生の要望にオーダーメイドで応えられる大学教育を提供しながら、学生を支援するという形から一歩踏み込んで学生と協働し、「私を変える大学」としての札幌大学を目指します。豊かな教養とグローバルな世界に対応できる語学力。そして社会人としての基礎知識を身につけ、豊かな人間性を育みます。座学だけではなく体験授業を通じて、知性を身体に染み込ませるとともに、他者への気配りと社会人としてのマナーを会得することも基本方針のひとつです。知性と生氣にあふれ、信頼される人間性によって多種多様な分野に進出し、地域社会に貢献することを目指します。

【学生が主体となって様々な プロジェクトが立ち上がっています】

その先駆けとして、札幌大学では学生が主体となって、さまざまなプロジェクトが立ち上がっています。学生自身が大学づくりに参加する「札大おこし隊」、障がいをもつ学生に協力する「札幌大学キャンパス応援隊」、アイヌの学生を核に多文化共生を行う「ウレシパ・クラブ」、スポーツ・文化活動を通して地域と交流する「めえ〜ず」など、多岐に渡ります。「協働」は、21世紀の地球市民に求められる営みですが、その能力は独りで学ぶ「孤学」では身につけません。「主体的協調」を体験する実践の場が必要です。ぜひ札幌大学で仲間と一生の絆を結び、新しい自分を発見してください。

【山の頂上に登るまでに、様々な ルートを設定することが重要です】

「なりたい自分になる＝目指す山の頂上に登る」には、ひとつではなく、多様なルートを設定することが重要だと考えます。私は学生時代、山岳部に属していましたが、登山にはいろんな種類があり、ゆっくり歩くトレッキングからワンダーフォーゲルという比較的低山の長期にわたる徒歩旅行を楽しむものもあれば、ロッククライミングのように身体を張って挑む危険なものもあります。標準的な学び、ゆっくり型の学び、ハイグレードコースなど様々なやり方を登山を通じて体得してきました。そのおもしろさを、本学の学生にも感じてもらえたらと考えています。そうやって頑張る学生たちが遭難しないように、教職員がシェルパ・山岳ガイド役となって、バックアップをしていければと思います。



札幌大学・札幌大学女子短期大学部 学長
桑原 真人（くわばら まさと）

北海道大学大学院文学研究科修士課程修了。経済学博士。札幌大学経済学部教授、札幌大学附属総合研究所所長を経て、2011年4月札幌大学・札幌大学女子短期大学部学長に就任。専門は北海道近・現代史。「北海道の歴史」（山川出版社）など著書も多数。

CHANGE!

2013年、札幌大学が変わる。「1学群13専攻」スタート

サツダイマツチング



1 グローバルアクションプログラム

国際経済・政治に加え、海外語学研修や留学、国際交流ボランティアなどの外国語・異文化体験で、タフな人格を形成し、就業力の向上をめざします。留学前後の不安解消などのためにカウンセリングも行います。



●日本語・日本文化

日本語と日本文学への理解を中心に学びます。日本文化に精通し発信できる国語教師、日本語教師などを養成するカリキュラムが充実しています。

2 ウレシプログラム

アイヌ文化の担い手を育成する全国初の教育プログラム。アイヌの学生とともに学び、アイヌ文化伝承保存活動を通して、多文化共生コミュニティのモデルを構築し、社会に発信できる人材を育成します。



●経済学

北海道、日本、世界など「地方経済」、「国際経済」の関連性を中心に政策・財政・環境・統計などの側面から理論と実践を通して広く経済を学びます。

●地域創生

札幌の未来、北海道の未来についてあらゆる切り口(テーマ)から考え、あるべき姿を追究します。また、「子ども・子育てサポート」では、明るい社会の構築について考えます。

●ロシア語

北海道から最も近い隣国ロシアについて言語、歴史、文化などの視点から理解を深めていきます。ロシア語教師、通訳・翻訳者、在外公館派遣などをめざすカリキュラムも充実しています。

●歴史文化

アイヌ文化、北方史、考古学、人類学、地理学など地域性と超越性を意識し、人間の営みを歴史と文化の側面から考え、社会で生き抜くうえで必要な人間力を養います。

3 教職アクションプログラム

札幌大学地域スポーツ・文化総合型クラブ「めえ〜ず」での活動を通して、積極的に子どもたちと触れ合うことで、教育の現状を理解し、知識と自覚をもつ、地域社会に貢献できる教師を養成します。



●経営学

ヒト・モノ・カネ・情報の4つの経営資源をいかに効率よく資源配分するのか、地域や国際社会で活躍する企業の事例をもとに理論と実践を通して生きた経営学を学びます。

●法学

「法専門職・公務員」、「パブリックセキュリティ(警察・消防)」、「ビジネス法務」の3コースを設置。カリキュラムは自分の将来を明確に見据え学びを進められる構成です。

●中国語・中国文化

中国語と中国文化について学び、成長著しい中国を理解します。中国の交流協定校への留学期間も在学年数に換算されるなど留学環境も整っています。

●異文化コミュニケーション

グローバル化する社会の中で異文化の人々と交流する重要性を認識し、言語だけではなく映像、芸術、デザイン、音楽、世界文学などを通じてコミュニケーションする力を養います。

4 キャリアデザインプログラム

ボランティアや企業・自治体インターンシップ、地域NPO研修などで体験知と課題解決力を身につけ、就業力の向上をめざします。キャリアサポートセンターがカウンセリングを行い就職をサポートします。



●現代政治

「現代日本政治」や「国際政治」を中心に学び、社会にあふれる様々な情報を分析し、解決策を考え、それを実現していく力を養います。

●英語

話す・読む・書く・聞くの基礎能力を高め、英語圏諸国の文化理解を深めていきます。英語教師や通訳をはじめ、英語の専門職を目指すカリキュラムも充実しています。

●スポーツ文化

人間や社会についてスポーツ文化を通して学びます。体育教師や野外活動指導者、特別支援学校教諭養成科目も充実しています。

●現代教養

知育・徳育・体育の均質的養成によって人間力と人生設計する力をきたえます。正課授業と正課外活動の両立をめざします。

■短大生のニーズはある

今、短大は非常に厳しい状況下にあります。存続していくことさえ容易なことではなく、撤退を検討している大学も少なくないと言われてます。しかし、本学では短大というものの存在を前向きに捉えています。よく考えてみたら、実はニーズがあるんじゃないかと思ったのです。そこで、親しくしている企業の社長さんに率直に相談してみました。「短大出身の女子はどうですか?」と。すると「行けるんじゃないかと思う」という答えが返ってきました。今は、新入社員に4年制大学出身の女子を優先させている企業ばかりではない。出身大学にこだわらず、少しでも早い時期からしっかり働いてくれる、短大卒で優秀な女子を探りたいとおっしゃっていました。それは大変勇気づけられる言葉でした。私は札幌の中で、新しい短大の教育というものを切り拓いていきたいと思っています。

■2年間で3年間以上の教育というのを凝縮しないとイケないと考えます

そのためには2年間の中に3年間以上の教育内容を、凝縮しないとイケないと考えます。例えば「イングリッシュアワー」という、英語に限らず語学をやる時間を設けます。そこで、社会に出るといのはどういうことか、人に貢献する、社会に貢献するとはどういうことか、自分は何のために生きているのか、そういう幅広いことも含めて、毎回しっかり指導します。この講義に2年間一度も遅刻することなく、毎週出ず課題もこなし続けた学生には、素晴らしい企業さんとのパイプを作

女子短期大学部が変わる。 どんな環境でも生き残っていける学生を育てたい



4月26日、教育組織組織改編に伴う記者発表を行った本田優子副学長(左)、山田玲良副学長(右)

れるように後押しをしていこうというふうに考えています。あとは短大に入ったあとの編入という道も、整えています。本学の4年制大学に編入することももちろんできますが、優秀な学生は国公立大学や本州の大学に行くことも可能です。本当に優秀な学生は「特待生」になります。そうすると通常の4年間の学費ではなく、2年間の学費で

4年制大学を卒業することができます。そのためにも、必死で優秀な短大生を育てようと思っています。短大には、多くのメリットがあります。ぜひとも今こそ短大という道があるとお考えいただきたいというふうに考えます。

CHANGE!

■就職率100%を目指す

真面目に勉強するというのは、基本的な能力です。私は最後には人間力だと思っていて、非常に多様化した今の社会の中で起きていることをいかに自分の目で分析し、きちんと対応していけるか。その力こそ求められていますし、その力を身に付けさせることが就職率100%という結果に繋がっていくと考えます。私が本学の学生にいちばん願っているのは「多様性の感覚」を身につけるということです。この道しかないと思っていたら、だめだった時にポキンと折れてしまう。そうではなく人の多様性を認め、自分の中の多様性を認めることを教えます。多様性の



ためのプロジェクトというのを、本学ではたくさん用意しています。その中のひとつとして、東日本大震災の被災地に意識を向ける、ということがあります。ああいった未曾有の災害に対して心を揺らせる、そういう人間をどうしても育てないとイケないというふうに思うからです。本学では毎月11日にずっと被災地に募金を送り続けるというプロジェクトを続けています。ここで支え続けることによって、ひとりひとりが人としてきちんと成長していく。そういう道なのだとは私たちは思っています。

■多様性の感覚、どんな環境でも生き残っていける学生を育てる

今まで私は多様性というのは、社会科学的な概念とか理念だと思っていたんです。でもそうではないということがわかりました。知人からこういう話を聞いたことがあります。Aのフラスコ、Bのフラスコを用意して、Aには「ア」というみんな同じ種類の微生物を入れる。Bには「ア」と、その他様々な微生物を入れます。その両方をしばらく飼っていると、Aに入っている「ア」はみるみる大きくなって強

くなるそうです。Bに入っている「ア」は大きくならないんだそうです。そこに一定の毒物を入れます。そうすると驚いたことに、均質で優秀だったはずのAのフラスコの微生物は全部死んでしまったのに、Bのフラスコの微生物は死滅しなかったそうなんです。この実験で、違うものの中で揉まれるというのは実は生物そのものの在り方を強くする、一見小粒だけど、ものすごいパワーを備えることができるということが証明されました。ですから私は本当の多様性を認める環境を本学女子短期大学部の中につけて、どんな環境でも生き残っていける、そういう学生を育てることを最大の目標にしています。

札幌大学・札幌大学女子短期大学部 副学長

本田 優子 (ほんだ ゆうこ)

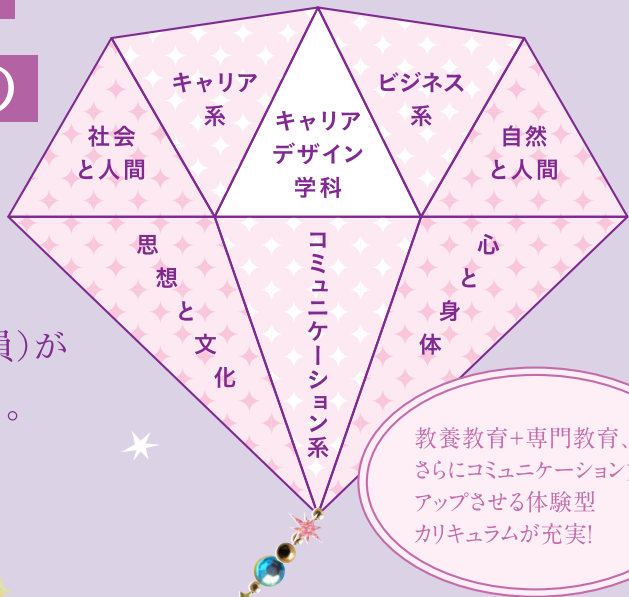
副学長・文化学部教授。2005年本学赴任。アイヌの若者たちの大学進学を支援し、民族文化を学ぶ場を提供するプログラム「ウレシバ・プロジェクト」や持続的震災支援プロジェクト「リムデイ.11」に携わる。

2年間で

私を変える!

短期集中の プログラム

入学から卒業まで、ナビゲーター(教員・職員)がしっかり丁寧にサポート。



◆ 出会いプログラム

経営者や留学生、地域の子どもやお年寄りなど、広く学内外の方と対話し、対人コミュニケーション力を磨く!

◆ 体験プログラム

留学生のシティガイドや、来訪者受付、カフェテリア業務など、大学での職業体験を通してシゴトを実感!

◆ 海外研修プログラム

全員参加の海外研修では、語学・生活・職業体験を通して異文化間コミュニケーション力を磨く!

◆ イングリッシュアワー

毎日8:30から9:00まで、指定教室にて外国語を聞き流しながら外国語で挨拶! Hello! 你好!

◆ ランチトーク

先生とランチタイムを過ごし、目上の人とのコミュニケーション力をアップ!
etc.

1. 教養と語学力

グローバルな世界に対応する語学力、幅広い教養、基礎知識を身につけます。

2. 気配りとマナー

体験授業を通して知性や他者への気配り、マナーを身に覚え込ませます。

3. 信頼と社会貢献

知性と生気にあふれ、信頼される人間性を培い、社会に貢献します。

社会で輝く私に!

社会人としての素養とマナー、基礎的な専門知識を身につけ、

2年間の集中プログラムが、「なりたい私」へナビゲート。

社会人としての素養を身につけ...

- 思想と文化 ● 社会と人間 ● 自然と人間 ● 心と身体 ● ビジネス系

+

コミュニケーションスキルを磨く。

- キャリア系 ● コミュニケーション系 ● 演習・実習

↓
だから、社会ですぐ輝ける!

キャリアデザインって...?

人生・職業(=Career)を、切り拓く(=Design)こと。

奨学金制度

日本学生支援機構奨学金、札幌大学成績優秀者奨学金、緊急生活支援奨学金などの制度が努力する学生を安心サポートします。

保護者通信

1ヶ月に1度、メールやHPで保護者の方へ短大内の最新情報を発信。学校と学生たちの“今”をわかりやすくご紹介します。

学生と教職員のポータルサイト

アイトス

[総合学生支援システム]

PCやケータイからいつでも短大の最新情報をチェック。「私の単位数は?」「先生へちょっとした質問をしたい」という時に大活躍!

PICK UP TOPICS

●文化功労者受賞 山口元学長の蔵書等を公開



一般公開：毎週木曜10時～15時

2011年10月25日に政府が発表した「文化功労者」に本学元学長 山口昌男名誉教授が選ばれました。山口名誉教授は、日本を代表する文化人類学者として国際的にも高く評価されており、本学ばかりでなく北海道における文化の発展に大きく寄与されました。受賞記念「知の巨人

山口昌男展」は5月31日をもって終了しましたが、その研究における蔵書・資料の一部約4万点を本学図書館に移管し「山口文庫」として開設しました。

《問い合わせ：本学図書館 011-852-9176》



WIN A PRIZE

●「美唄サテライト・キャンパス」に講師を派遣



派遣期間：5月12日～11月中旬

札幌大学では、北海道美唄市が推進する事業への協力、インターシッピやフィールドワーク、学術調査、同市の札幌大学への実践的教育の場の提供など、教育・研究・人材育成における相互協力を推進するため協定を締結する運びとなり、4月24日に調印式を行いました。

美唄市では活力ある地域づくりを進めるため、市役所はもとより産業界など多様な分野で意欲的に活躍する人材の育成が急務であるとし、多様な人材育成機能に加え、市民が気軽に集い交流するコミュニティセンター機能を兼ね備えた複合拠点「美唄サテライト・キャンパス」を開設し、このたび札幌大学が講師派遣に参加することとなりました。

《問い合わせ：美唄市総務部企画課

0126-62-3137》

BIBAL CAMPUS

●平成24年度 入学式を挙行了しました



札幌大学・札幌大学女子短期大学部・札幌大学大学院の平成24年度入学式を4月1日ニトリ文化ホールにおいて挙行了しました。新入生を代表して川村和花さん（経営学部経営学科）、蠣崎菜さん（女子短期大学部経営学科）が宣誓を行い、吹奏楽団、応援団、チアリーディング部などがアトラクションで新入生を歓迎。式後にはホテルさっぽろ芸文館において、各学部による保護者説明会が実施され、多くの保護者の皆様にご出席いただきました。



ENTER SCHOOL

●教員採用試験に11人が合格、33人が教壇に

◎取得できる教員免許状

学部	学科	免許状の種類と免許教科・領域	
		中学校教諭一種	高等学校教諭一種
経済学部	経済学科	商業	商業
外国語学部	英語学科	外国語(英語)	外国語(英語)
	ロシア語学科	外国語(ロシア語)	外国語(ロシア語)
経営学部	経営学科	商業、情報	商業、情報
法学部	法学科	社会	地理歴史・公民
文化学部	文化学科	国語、社会、保育体育	国語、地理歴史、保育体育
特別支援学校			

本学の卒業生11人が2012年度新たに正教員として採用されました。なかでも全道の公立高等学校商業科で採用された2人はいずれも本学卒業生であり、期限付教諭等を含めると33人の卒業

生が採用、全国各地で教壇に立ちます。札幌大学では、教員を目指す学生のために「教職課程」を設置し、これまでに数多くの優秀な教員を輩出。北海道公立高等学校英語科教員の12%、同商業科教員の37%を本学卒業生が占めております。

TEACHERS

●平成23年度 卒業式を挙行、祝918人の旅立ち



札幌大学・札幌大学女子短期大学部・札幌大学大学院の平成23年度卒業証書・学位記授与式を3月20日ニトリ文化ホールにおいて挙行し、大学836人、女子短期大学部59人、大学院23人が本学から巣立ちました。また、同式典では在学期間中に学業や課外活動な



ど多方面で努力し、優秀な成績を修めた卒業生が特別表彰を受けました。23年度は大学20人、女子短期大学部から3人の卒業生が受賞。新たな旅立ちに花を添えました。

GRADUATION

●学内会社説明会に160以上の企業・団体が集結



札幌大学では、2月8日・9日の両日、本学第一体育館・第二体育館にて「札幌大学会社説明会」を開催しました。学生に多くの企業と接する機会を提供し、就職に対する意識向上を図ることを目的としたこの説明会も、今年で8回目を迎えました。両日合わせて161



の企業・団体等が参加。大学独自に実施する学内会社説明会として道内最大規模を誇る同説明会のほかに、学内で複数企業・団体が教室をブースとして実施する説明会も複数回行なわれました。

EXPLANATION

退職・新任教職員

■退職：2012年3月31日付

・経済学部経済学科	教授	齋田 小彌太	・法学部法学科	教授	田中 穂積	・運営事業オフィス	部田 喜美男
・経済学部経済学科	准教授	石井 聡	・文化学部文化学科	教授	石塚 純一	・運営事業オフィス	平川 政美
・外国語学部ロシア語学科	講師	コヴァレンコ コーリア	・文化学部文化学科	教授	川村 清志	・運営事業オフィス	岩田 努
・経営学部経営学科	教授	宮腰 昭男	・女子短期大学部経営学科	講師	土方 直子	・学生支援オフィス	明石 直和
・経営学部経営学科	准教授	久野 弓枝				・学生支援オフィス	大村 哲史
						・学生支援オフィス	松本 勝利
						・学生支援オフィス	池田 伸子
						・学術情報オフィス	中明 治子

※経済学部 齋田小彌太教授には、本学での永年の功績に対して、名誉教授の称号が授与されました。

※法学部 田中穂積教授には、本学での永年の功績に対して、名誉教授の称号が授与されました。

※経営学部 久野弓枝准教授は、外国語学部准教授として採用されました。

■採用：2012年4月1日付

・外国語学部英語学科	准教授	久野 弓枝	・キャリアサポートセンター専門員	土方 直子
------------	-----	-------	------------------	-------

OPEN CAMPUS 2012

2012年度「オープンキャンパス」のご案内

●オープンキャンパスの回数が増えて見学時間も短縮し、どなたでも気軽に参加できるようになりました!

気軽に

札幌市内中心

じっくり

北海道内・札幌市内

札幌市内
JR・地下鉄駅
無料送迎
バス運行

札幌市内
JR・地下鉄駅
無料送迎
バス運行

北海道内
8エリア
無料送迎
バス運行

スペシャルイベント
「MANABI FESTA」
開催予定

12:00
15:00
(受付11:30~)

第2回

第4回

7.21
(土)

11:00
15:00
(受付10:30~)

第5回

8.5
(日)

第1回

5.19
(土)
〈終了〉

6.9
(土)
〈終了〉

第7回
2013

3.23
(土)

第3回

6.23
(土)

第6回

9.30
(日)

※高校生1・2年生対象

遠方よりお越しの方 **BUS TOUR**

オープンキャンパス開催に合わせ、遠方にお住まいの高校生を対象に北海道内8つのエリアから無料バスを運行します!

要
予
約

Aコース：名寄・旭川方面

Bコース：深川・岩見沢方面

Cコース：岩内・小樽方面

Dコース：室蘭・苫小牧方面

Eコース：帯広・十勝清水方面

Fコース：北見・遠軽方面

Gコース：函館・八雲方面

Hコース：釧路方面

札幌近郊よりお越しの方 **JR・地下鉄無料送迎バス**

駐車場(バス停留所)

JR札幌駅・スーパーセンタートライアル藤野店・アパホテル&リゾート札幌・地下鉄真駒内駅・地下鉄澄川駅・地下鉄新さっぽろ駅・イオンモール札幌平岡ショッピングセンター・とんでん清田店・地下鉄福住駅・地下鉄月寒中央駅

*停留場所詳細は本学ホームページ(<http://www.sapporo-u.ac.jp>)にてご確認ください。

お問い合わせ：札幌大学入学センター 0120-15-3201

●「Visit Campus(ビジット・キャンパス)」制度を新設

札幌大学女子短期大学部は、来たる2013年度、在学生保護者の方々に対象に「Visit Campus(ビジット・キャンパス)」制度を新設します。この制度は、自宅外通学生の保護者の方々に、本学を訪れ学生の生活を実際に見て、修学状況や卒業後の進路に関する情報を担当教職員と共有していただくために、自宅最寄り駅から本学までの交通費を助成するものです。

女子短期大学部は、これまで学生、保護者、教職員の連携を重要視し、「アドバイザー制」や「オフィスアワー」を設け、また「保護者懇談会」を開催してまいりました。同制度が、道外も含め遠方から本学に入学していただいた学生の保護者の方々に安心を与えるとともに、学生、保護者、教職員、三者の連携がますます密になり、今後の女子短期大学部の発展にも貢献してくれることを期待しています。

*学生の保護者1人に対し、半期に1度、交通費を助成します。

*助成金額は、自宅最寄り駅から本学までの最短距離の公共交通費とします(ただし、上限あり)

*宿泊を希望する保護者は本学セミナーハウスが利用できます。

●公開講座「北方文化フォーラム」を開催

札幌大学文化学部では、学部開設以来、学生と教職員、一般市民の方々に対象とした公開講座「北方文化フォーラム」を毎年開催しています。文化学部が主催する講演講座で、毎年、国内外で活躍する作家・画家・漫画家・詩人・パフォーマー・学者・建築家・写真家・ジャーナリスト・俳優・音楽家・映画監督などの多彩な講師をお招きし、「文化の健在」についてお話しいただいています。

第1回	6/8(金) 18:00~	札幌大学 プレアホール	君原 健二氏 (メキシコオリンピック男子マラソン選手) 講演内容:「ゴール無限~君原健二の半生と哲学~」
第2回	6/29(金) 18:00~	札幌大学 プレアホール	森 直子氏 (花作家) 講演内容:「花のいのち 人のこころ」
第3回	7/13(金) 18:00~	札幌大学 プレアホール	山折 哲雄氏 (宗教学者) 講演内容:「災害列島に生きる」
第4回	7/18(水) 16:30~	札幌大学 プレアホール	ドナルド・キーン氏 (日本学者) 講演内容:「世界の中の日本文化と日本文学」

一般の方の聴講は、事前申込が必要な場合があります。詳細は、ホームページ(<http://www.sapporo-u.ac.jp/>)にてご確認ください。

後援会から お知らせ

平成24年度札幌大学後援会総会を5月26日に開催しました。総会終了後、札幌大学との共催による保護者懇談会を行いました。この懇談会は、修学状況や就職状況をはじめ、学生生活全般と大学の現状についてご説明し、本学と保護者のみなさまとの相互理解を深めることがねらいです。ご子女の成績や就職などについて、各担当者がご相談に応じる個別相談も実施しています。

今年度は、右記の日程と会場で9回開催。保護者のみなさまのご参加をお待ちしています。

〈平成24年度 保護者懇談会 会場一覧〉

5月26日(土)	札幌	札幌大学〈終了〉
9月15日(土)	札幌	札幌大学
9月8日(土)	釧路	釧路東急イン
9月8日(土)	青森	青森グランドホテル
9月9日(日)	帯広	帯広東急イン
9月9日(日)	函館	函館国際ホテル
9月29日(土)	北見	ピッツアークホテル
9月30日(日)	苫小牧	グランドホテルニュー王子
9月30日(日)	旭川	ロジワールホテル旭川

札幌大学から札幌を考える

vol.1 「スポーツを通じての街づくり」

文化学部 教授

文化学部 文化学科 3年
瀧元 誠樹 × **脇坂 葉月**

オリンピックやW杯大会開催を通じて札幌はSAPPOROへ

脇坂「この間の講義で、札幌時計台がもともと漢武場だったことを話されていましたよね。気になって見てきました」

瀧元「さっそく確認しに行ったのは、さすがですね。札幌時計台は、旧札幌農学校演武場が移設されたものでしたね。文字通り文武両道の学びの中で切磋琢磨をして、活躍した多くの先人たちの記憶が130年あまりの歴史とともに刻まれていることを思い出したいですね。ところで、歴史が刻まれているといえば、その他にもスポーツ文化にまつわるモニュメントがありますね」

脇坂「札幌冬季オリンピック大会のことですよね。競技施設だけではなく、五輪通りや五輪団地といった名称もあって気にな



なっていました」

瀧元「地域に残っている名称から歴史を辿ることも大切な視点です。ミュンヘン大橋は、同じ1972年に夏季オリンピック大会を開催したドイツのミュンヘンとオリンピック開催を通じて交流が深まった記念として名付けられています。

さて、少し視点を変えてみると、オリンピック大会開催によって札幌の街づくりが進展したと言えます。というのも、大会に間に合わせるように地下鉄南北線や幹線道路が整備されていますから」

脇坂「東豊線はどのようなですか？札幌ドームが終着駅にありますよね。ここもスポーツのために整備されたと言えますか？」

瀧元「東豊線が福住まで延伸したのは1994年で、札幌ドームの開業が2001年ですから直接結びつけて考えられないかな。それでも、2002年のサッカー・ワールドカップ大会開催に向けて札幌ドームが建設され、沿線には「月寒ドーム」、「きたえ〜む」、「つど〜む」があり、カーリング競技場建設も計画されていることを考えれば、スポーツイベントを通じた街づくりが沿線で意図されていることは明確ですね」

脇坂「スポーツイベント開催はいい影響もあるでしょうが、リスクも高いと思います。金銭的にみればインフラ整備は相当に大変だと思います。なのになぜ、チャレンジするのでしょうか」

瀧元「国際規模の大会になれば、選手や観客にとって安心で安全な大会運営が求められますからインフラ整備もその一環となり、スポーツイベントによる経済効果としても期待されているのでしょうか。札幌が、オリンピックやW杯を通じて国際都市SAPPOROとして有名になっていくのも、効果の一つでしょう。札幌の街づくりについてスポーツからみているのだけれど、一つ切り口を変えてみると違った景色が広がってきますよね」

脇坂「スポーツをしたり、見たりするだけでなく、スポーツという視点から札幌を考えてみるのもいいですね。改めてスポーツモニュメントを探しながら札幌を歩いてみると面白い発見ができそうです」



瀧元 誠樹 (たきもと せいき)

文化学部教授。2003年本学赴任。体育科学博士。専門はスポーツ史、スポーツ文化論、武道論。合気武道部顧問。武の起源と、武芸文化のグローバル化を研究している。



脇坂 葉月 (わきさか はづき)

文化学部文化学科3年(札幌山の手高等学校卒業)。女子バスケットボール部所属。応用ゼミナールI(瀧元誠樹)で、スポーツ史研究の方法を学んでいる。

時計台ー真駒内公園ー札幌ドームは、スポーツ文化のモニュメント?!

SUキャリアデザイン vol.1「札幌大学の教職課程」

経営学部経営学科 准教授 高石克美

現場を見据えた指導。頑張れる学生は、なりたい自分になれる。

道内の主要な商業高校に札幌大学出身教員

6年前に母校である札幌大学に赴任し、商業科の教員を育てるゼミを担当しています。現在はなかなか教員採用試験に合格するのがむずかしい時代と言われていますが、道内の主要な商業高校には札幌大学の出身者が多数います。2012年度の公立学校の教員試験では11人が正式採用になっています。その内2人が商業での採用。総合大学で教員免許状の種類と教科をこんなに出している大学は稀です。なぜ、そんなことが可能なのか。学内にある教職センターにおいて月2回位、模擬授業を行っていることが特徴かもしれません。夕方6時から8時までで学生たちが自分で教材を作り、それを使って実際に模擬授業を行うというものです。

自分の方から語りかけてくる教材こそ理想

学生自らが教材を毎回作るという授業を行っています。まず私が作って見せて、それから「なんでもいいから自由にやりなさい」と言います。大事なのは見た瞬間、教材がしゃべるような、わかりやすいもの。最初は要領が掴めなかった学生も、試行錯誤を重ねていくうちにだんだん上手になっていきます。それを公表して総評して、反省します。今、教員採用試験では10分程度の模擬授業が行われるので、そのための予行演習を時間をかけてやり、実際に現場でも使えるものを作ります。



面接や討論など話すことの鍛錬により、実践的な指導力を育成強化する

他にも充実したスタッフ陣による指導のもと、一般教養や教職教養などの勉強会を週に2回位行っています。そこで面接や討論など話し方の練習もして、実践的な指導力の育成強化に力を入れています。こういう環境の中で頑張っている学生は、高い確率で目標を実現させています。普通の授業を受けて単位を取るのも大変ですが、それにプラスアルファして頑張れる学生は、なりたい自分になれる。教職センターが学内にあり、強烈な現場を体験してきた先生方に直接指導を受けられる大学は、決して多くありません。それがこういった成果に繋がっていると確信しています。



高石 克美 (たかいし かつみ)

経営学部准教授。2006年本学赴任。専門分野は教職課程。赴任前は北海道公立高等学校教諭。滝川西高等学校時代は野球部の監督として甲子園に導く。現在は札幌大学野球部監督。